

＜力強い保証＞

ヘブル13：5～8

“Keep up with the Joneses”

「ジョーンズさんに負けるな」

一喜一憂するような生き方から解放されるためにはどうしたらいいのだろうか。

物事の善し悪しを最終的に判断するのは、永遠に変わることのない神さま。この方が教える価値観に立つこと。

いま私は人に取り入ろうとしているのでしょうか。

いや。神に、でしょう。あるいはまた、人の歓心を買おうと努めているのでしょうか。もし私がいまなお人の歓心を買おうとするようなら、私はキリストのしもべとは言えません。 ガラテヤ1：10



ステパノの殉教

12使徒ではなかったパウロ。

使徒職が認められていない自分の立場に葛藤した？！

主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

【5節】

信仰によってこの言葉を握って立つならば、あらゆるものを征服する武器を手を持っているのと同じ。つまり、神の言われたことを片時も忘れないという事。

しかし

神の言われたことばを思い起そうとしないなら、私たちの信仰は衰えていく。

金銭を愛する生活をする人とはどんな人なのか？

「そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」 マタイ6：31～33

今持っているもので満ち足りて、満足しなさいと勧める根拠はどこにある？

「力強い保証」それは・・・

究極の拠り所である「わたしは決してあなたを離れず、またあなたを捨てない」と約束される神への信頼。

私たちは確信に満ちてこう言います。「主はわたしの助け手です。私は恐れません。人間が、私に対して何ができましょう。【6節】

<ステパノ> 使徒の働き 6、7章

議会で席に着いていた人々はみな、ステパノに目を注いだ。

すると彼の顔は御使いの顔のように見えた。 使徒 6 : 15

ステパノは神の右に立つ復活のイエスを見て、そして対話の中で自分の霊をゆだねた。パウロも復活のイエスとの対話の中で、イエスを預言された救い主であると信じた。

◆主が彼らと共におられたということが、インパクトを持って迫ってくる。イエス様が彼らの「信仰を導き」彼らと「ともにおられ」彼らの「結末」へと導かれた。

イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。【8節】

信仰の創始者であり、完成者でイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。 ヘブル 12 : 2

「今日の生活」に働いてくださるお方は、「永遠のお方」である。